

JFEシビル(本社)東京都台東区、藤井善英(社長)と三菱樹脂インフラテックが共同開発したコンクリート剥落防止機能を持つ新塗料「ペイントガードCV」が、国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS、番号KT1150090

JFEシビル

「A」にこのほど登録され、一般公開された。近年問題となっているインフラ老朽化にともなうコンクリート剥落に対応できる新塗料で、インフラの補修工事などでの使用が想定される。開発コンセプトは「剥落防止機能と強度につい

コンクリート剥落防止塗料

NETISに登録



一般的な塗装業者でも容易に施工



て、安全性、施工性、経済性の3点をバランスよく成立させること。具体的には、首都高速の剥落防止基準「B種」相当の性能を満足し、一般的な塗装業者でも容易に施工

できることを目標に開発した。開発は2012年度に完了し、JFEスチールの東西製鉄所の京浜、倉敷、福山の3地区で合計2000平方メートル以上の適用実績を蓄積してきた。

さらに、高度成長期に整備された橋梁・高架橋やトンネルなどの鉄筋コンクリート構造のインフラ補修案件へ適用するため、国土交通省関東地方整備局の「NETIS」テーマ設定型による技術公募(新素材繊維接着工(コンクリート剥落防止対策技術))に応募。2015年3月に「技術選定」を受けている。「技術公募」で選定された全22技術は、順次、国土交通省が提供する試験施設や実構造物で、性能確認試験や施工試験等の技術検証を実施し、技術特性等を示した「技術整理表」が作成される。関東地方整備局新技术活用評価会議で評価のうえ、NETIS維持管理支援サイト等にて公表される予定。現在、「ペイントガードCV」でも関東地方整備局と施工試験の調整をしている。

また、高度成長期に整備された橋梁・高架橋やトンネルなどの鉄筋コンクリート構造のインフラ補修案件へ適用するため、国土交通省関東地方整備局の「NETIS」テーマ設定型による技術公募(新素材繊維接着工(コンクリート剥落防止対策技術))に応募。2015年3月に「技術選定」を受けている。「技術公募」で選定された全22技術は、順次、国土交通省が提供する試験施設や実構造物で、性能確認試験や施工試験等の技術検証を実施し、技術特性等を示した「技術整理表」が作成される。関東地方整備局新技术活用評価会議で評価のうえ、NETIS維持管理支援サイト等にて公表される予定。現在、「ペイントガードCV」でも関東地方整備局と施工試験の調整をしている。